



Handwritten text on a piece of aged paper, likely a document or book cover. The text is written in vertical columns from right to left. The main text reads: 山东京付銭 (Shandong Kyōfuzen) and 送外百人三巻 (Sōgai Hyaku-nin Sanmaki). There is a small rectangular stamp or label on the left side of the paper, containing the number 3599 and the character 利 (Ri).



傘張夜雨
長久の雨

急を仕事に
急を仕事に

紅利夕照
山の夕照
紅猪はけ



團扇時嵐
買ね人もあはれ

庭のまなぶ

時計師
時計師の
時計師の
時計師の



わきまのきよ
扇折歸帆
かけらぬ

あやふさ
箱乃う歩に
我死てふ
あやふさ
白帆とて足し



鏡磨秋月
磨月の鏡名

葉乃そのそり
沈みあう糸



機織落雁

織物又百機
雲間より機を
わらうとて足し

存全



何れとつら
綿打暮雪

強うちを
神うら
雷のゆふと





天智天皇

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

持統天皇

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

横九太夫

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

中納言

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

X



光孝天皇
美作守
あまのつと
あまのつと
あまのつと
あまのつと

又 陽成院
ほたてさき
あまのつと
あまのつと
あまのつと
あまのつと



中納言
あまのつと
あまのつと
あまのつと
あまのつと

河原を
あまのつと
あまのつと
あまのつと
あまのつと



あまのつと
あまのつと
あまのつと
あまのつと
あまのつと

小野小町
あまのつと
あまのつと
あまのつと
あまのつと



あまのつと
あまのつと
あまのつと
あまのつと
あまのつと

九
あまのつと
あまのつと
あまのつと
あまのつと

おのれはわが親を
おぼしめすは
孝の初なり

あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ



元良親王

あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ



徳政

あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ



素性法師

あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ



おのれはわが親を
おぼしめすは
孝の初なり

あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ



女座康秀

あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ



菅原

あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ



あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ
あつたは
かみくろ



二橋右大臣

なんぢも
あつた
ちの
ひん
く



ちの
ひん
く
く



貞信公

か
あ
今
あ



あ
あ
あ
あ



九河河内守

あ
あ
あ
あ



壬生忠岑

あ
あ
あ
あ



坂上足利

あ
あ
あ
あ



春道列女

あ
あ
あ
あ



紀友別

おまのこの
あつち
おまのこの
あつち
おまのこの
あつち



紀貫之

人のい
とつち
つち
つち
つち
つち



藤原真凡

おまのこの
あつち
おまのこの
あつち
おまのこの
あつち



清原深次郎

おまのこの
あつち
おまのこの
あつち
おまのこの
あつち



文屋新藤

おまのこの
あつち
おまのこの
あつち
おまのこの
あつち



太近

おまのこの
あつち
おまのこの
あつち
おまのこの
あつち



藤原等

おまのこの
あつち
おまのこの
あつち
おまのこの
あつち



平兼盛

おまのこの
あつち
おまのこの
あつち
おまのこの
あつち



お上の忠見

多きをば
日ごとく
けりて
人あまは
たのひ
ら申の



中納言敷太

あぢのんを
後のこと
らふま
いさけあり



清原元捕

かたみ
すく
ま
あど



中納言朝太

あぢのん
いさ
らふ
いさ



藤徳公

あすれ
らふ
ま
あ



當報好太

あすれ
らふ
ま
あ



源義経

あすれ
らふ
ま
あ



源義経

あすれ
らふ
ま
あ



大仲氏徳宣頭后

中々のり
あつた
おどろかす
おどろかす
おどろかす



若原実方朝臣

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた



若原実方朝臣

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた



若原実方朝臣

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた



大仲氏徳宣頭后

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた



若原実方朝臣

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた



大仲氏徳宣頭后

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた



若原実方朝臣

あつた
あつた
あつた
あつた
あつた



伊勢大浦



あはれぬ
おあはれ
いふかき
よぶまじり
あはれ
わらうま

大糸大直道



おまはら
あそびん
しんろふ
あはれ
ほろり
このま

清水納言



おはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

権中納言



あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

徳園法師



あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

大納言



あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

権子内親王



あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ

崇徳院
 秋の栞
 大系
 徳院

徳院
 秋の栞
 大系

源義昌
 徳院

源義昌
 徳院

源義昌
 徳院

源義昌
 徳院

源義昌
 徳院

源義昌
 徳院

後徳太子太子
汗すぞん
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは



あつむき
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは
あつむき
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは



後周法師
あつむき
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは
あつむき
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは



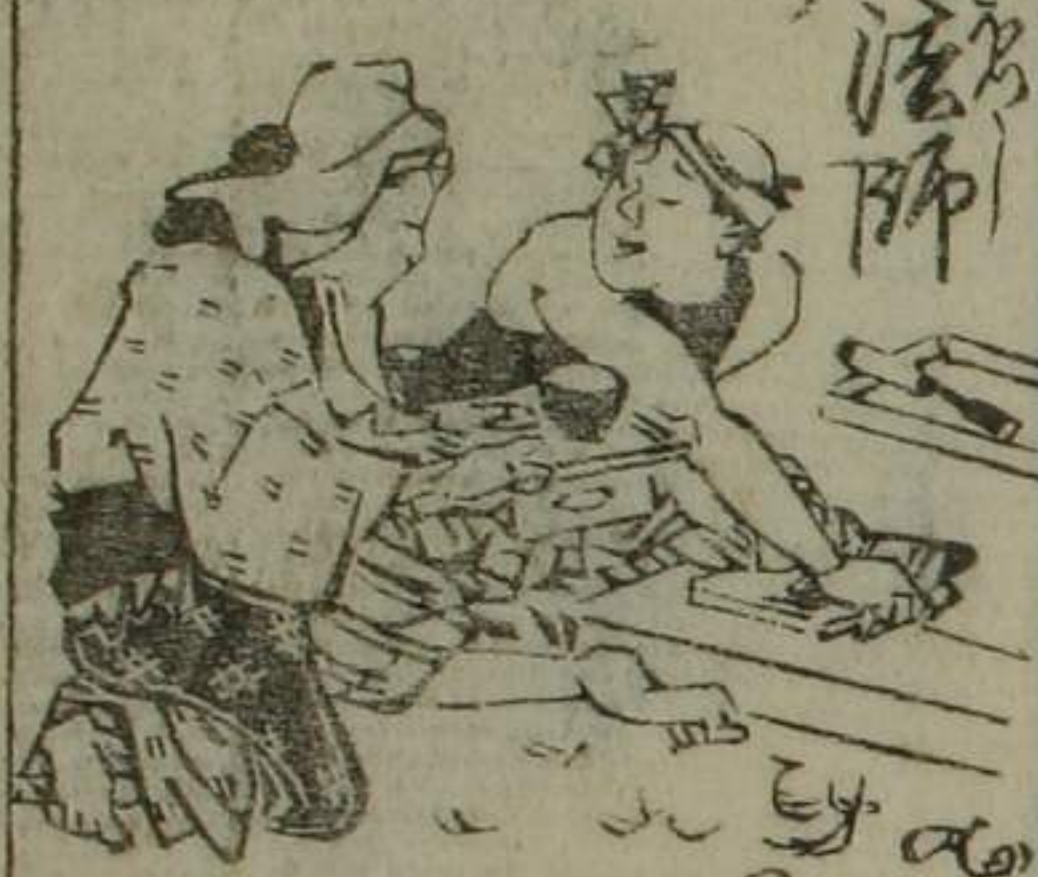
あつむき
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは
あつむき
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは



後徳太子太子
あつむき
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは
あつむき
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは



あつむき
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは
あつむき
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは



あつむき
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは
あつむき
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは



あつむき
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは
あつむき
おほい
あつむき
ほろい
つたのめりまは



太子内親王
福のあま
らねの
あまの
あまの
あまの
あまの



後系極務政
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの



潘余太史
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの



あまの
あまの
あまの
あまの
あまの



般多門院痛
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの



二條院極務
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの



あまの
あまの
あまの
あまの
あまの



あまの
あまの
あまの
あまの
あまの



